

## 【南部保健医療圏】（令和5年度版）

【埼玉県の基本データ】 <2020年> 令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年(2020年)10月 <2025年、2040年> 日本の地域別将来推計人口(令和5年(2023年)推計) 国立社会保障・人口問題研究所 <出生数、死亡数> 令和4年人口動態調査 埼玉県各市町村別将来人口推計ツール(埼玉県統計課)			
	2020年	2025年推計	2040年推計
人口総数	7,344,765人	7,316,411人	6,952,930人
人口増減率	2015→2020 1.1%	2020→2025 ▲0.4%	2025→2040 ▲5.0%
年齢3区分別人口	人口に占める割合	人口に占める割合	人口に占める割合
0～14歳	872,859人(11.9%)	807,027人(11.0%)	713,621人(10.3%)
15～64歳	4,488,130人(61.1%)	4,472,309人(61.1%)	3,923,681人(56.4%)
65歳～ (うち75歳～)	1,983,776人(27.0%) (994,346人(13.5%))	2,037,075人(27.9%) (1,210,504人(16.5%))	2,315,628人(33.3%) (1,259,186人(18.1%))
出生数(前5年計)	(2015～2020年)265,140人	(2020～2025年)245,078人	(2035～2040年)233,354人
死亡数(前5年計)	(2015～2020年)335,423人	(2020～2025年)404,491人	(2035～2040年)534,459人
保健所			
市町村			

【南部圏域の基本データ】 <2020年> 令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年(2020年)10月 <2025年、2040年> 日本の地域別将来推計人口(令和5年(2023年)推計) 国立社会保障・人口問題研究所 <出生数、死亡数> 令和4年人口動態調査 埼玉県各市町村別将来人口推計ツール(埼玉県統計課)			
	2020年	2025年推計	2040年推計
人口総数	809,456人	822,319人	831,588人
人口増減率	2015→2020 2.9%	2020→2025 1.6%	2025→2040 1.1%
年齢3区分別人口	人口に占める割合	人口に占める割合	人口に占める割合
0～14歳	100,853人(12.5%)	95,013人(11.6%)	90,890人(10.9%)
15～64歳	527,611人(65.2%)	542,736人(66.0%)	509,956人(61.3%)
65歳～ (うち75歳～)	180,992人(22.4%) (93,115人(11.5%))	184,570人(22.4%) (109,262人(13.3%))	230,742人(27.8%) (115,971人(13.9%))
出生数(前5年計)	(2015～2020年)34,394人	(2020～2025年)32,456人	(2035～2040年)34,472人
死亡数(前5年計)	(2015～2020年)33,996人	(2020～2025年)40,505人	(2035～2040年)51,028人
保健所	南部保健所・川口市保健所		
市町村	川口市・蕨市・戸田市		

## 地域医療提供体制の推進に係る課題

- ◆病床機能報告結果(R3)及びそれに基づく定量基準分析結果によれば、いずれも高度急性期病床が200床強不足している結果となっている。また、4区分合計の病床では60床程度圏域で不足している。
  - ◆回復期リハビリテーション病床(※)については、人口10万人当たり52.3床で県平均を下回っているが、今後開設予定の110床を加えると65.9床と県平均を約10床上回る。今後の当面の病床整備の在り方については、圏域内の医療課題や隣接圏域との受療動向等をみながら更に検討する必要がある。
- ※回復期リハビリテーション病棟入院料の届出を行っている医療機関の病床
- ◆在宅医療施設（在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所・在宅療養後方支援病院・訪問看護ステーション）については、いずれの施設も75歳以上人口1万人当たりの施設数は県平均を上回っているが、今後も増大すると考えられる在宅医療等の需要に対応するため、在宅医療等に関わる多職種連携の体制づくりが更に必要である。
  - ◆医療需要及び介護需要とも今後上昇が見込まれ、医療と介護の連携強化がより一層必要となる。

## 参考データ（在宅医療）

厚生労働省関東信越厚生局「施設基準届出受理機関名簿」

	2016年4月1日	2023年12月1日
<b>【埼玉県】</b>		
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等 医学総合管理料届出医療機関数	751 (人口10万人当たり) (10.25)	903 (人口10万人当たり) (12.32)
<b>【南部圏域】</b>		
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等 医学総合管理料届出医療機関数	75 (人口10万人当たり) (9.36)	81 (人口10万人当たり) (10.00)

## 2025年に向けて圏域が目指す姿

地域における医療機能の分化・連携の強化や、増加する高齢者への医療や介護の提供体制整備により、誰もが安心して自分らしく暮らせるよう、あらゆる住民に対して医療と介護が相互に連携し患者を支える医療提供体制を構築する。

- ・多職種連携の会議、研修会等の開催
- ・多職種間の情報共有、情報交換
- ・患者、家族への情報提供、相談体制の整備、その他の支援